

令和7年度 事業計画

アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW)は、これまで女性の地位向上及びジェンダー平等社会の形成に貢献するため、日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、国際協力・交流等の事業を実施するとともに、北九州市立男女共同参画センター・ムーブの指定管理者としてさまざまな事業を展開してきた。

令和7年度においても、持続可能な開発目標(SDGs)の目標5(ジェンダー平等及び女性・少女のエンパワーメント)の観点を取り入れながら、「第5次北九州市男女共同参画基本計画」が目指す「ジェンダー平等社会」の実現を目指して、

- ① ジェンダー主流化
- ② 就業に関する女性のエンパワーメント(能力構築)
- ③ 固定的な男女の役割分担意識の解消
- ④ 若い世代へのジェンダー平等意識の啓発

など、ジェンダー問題の解決に向けた「市民をはじめ不特定多数の利益の増進に寄与する」公益目的事業を実施し、日本及び他のアジア地域の女性の地位向上及びジェンダー平等社会の形成を推進する。

【公益I事業】 日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、国際協力・交流等を通じて女性の地位向上を図る事業

R7 予算総額 36,418千円
(R6 予算総額 39,470千円)

1 事業概要

日本及び他のアジア地域の女性の地位向上及びジェンダー平等社会の形成の推進を目的に、これまでの活動を活かし、各分野で多様な人々のニーズを的確に捉え、時宜にかなったテーマを選定して、調査・研究事業、交流・研修事業、情報収集・発信事業、国際研修など国際協力事業を実施する。

2 業務概要

(1) 調査・研究事業 R7 予算 1,014千円(R6 予算 2,574千円)

客員研究員研究、KFAW 研究者ネットワークを活用し調査研究活動を充実させるとともに、プログラム開発、研究報告会などの開催を通じて、北九州市ひいては日本及び他のアジア地域におけるジェンダー平等社会の実現に貢献する。

ア 客員研究員研究

外部の研究者による客員研究員研究を実施する。SDGs を踏まえ、国際的な動向や視点から国内の課題を明らかにし、ジェンダー平等社会の実現に貢献する。

イ 研究成果の広報

(ア) 研究報告会の開催

客員研究員の研究成果を市民に還元できるよう、市民を含め研究者等を対象に研究報告会を開催する。

(イ) 研究誌の刊行

『アジア女性研究』を刊行するとともに、研究者の論文等をホームページに掲載する。

ウ KFAW アジアジェンダー研究者ネットワークの活用

(ア) プログラム開発

大学生の卒業後の働き方や自己実現のために、ジェンダー平等や女性活躍の視点も踏まえ開発した「大学生のためのキャリア形成プログラム」を改訂する。プログラム改訂に大学生の意見を取り入れるため、大学生との意見交換会を実施する。

また、高校生を対象に、自己実現やジェンダー平等などを考えるセミナーを実施する。

(2) 交流・研修事業

R7 予算 3,213 千円 (R6 予算 3,143 千円)

「アジア女性会議—北九州」や国際セミナー等を開催する。また、市民とアジア地域を中心とした海外の方と市民との交流を通じて、ジェンダーに関する相互理解を深め、国際的視野を広げる。

ア 「アジア女性会議—北九州」等の国際セミナーの開催

(ア) 第 36 回アジア女性会議—北九州

KFAW の主要事業として、日本及び他のアジア諸国の女性が抱える課題をともに考え、これら諸国との相互理解及び国際交流を通じて、日本及び他のアジア諸国の女性のエンパワーメント及びジェンダー平等社会の形成を推進するため、国際的セミナーを開催する。

(イ) 国際理解促進事業

国際理解セミナー、CSW報告会の開催等、ジェンダーに関する相互理解を深める事業を実施し、市民の国際的視野を広げる。また、国際的な動向の情報収集のため、2026 年 3 月開催の第 70 回国連女性の地位委員会(CSW70)への参加登録の機会を当財団の関係者等に提供する。

イ 海外拠点ネットワークの形成

国内外にあるジェンダー関連団体などと連携し、SDG 目標5(ジェンダー平等および女性・少女のエンパワーメント)の達成を主としたネットワークの形成を目指す。

(3) 情報収集・発信事業 R7 予算 914 千円(R6 予算 1,409 千円)

ウェブニュースレター『Asian Breeze』の発行による情報発信や、アジア・太平洋地域を中心とした海外通信員からの情報収集、ホームページ等の充実を図る。

ア ウェブニュースレター『Asian Breeze』等の発行

KFAW の活動や国内外のジェンダーに関する情報の提供を通じて、ジェンダー問題に対する理解を促進するため、ウェブニュースレター『Asian Breeze』をオンライン配信するとともに、ホームページの充実を図る。

また、KFAW の活動の広報及び記録用として年間事業報告書を作成する。

イ 海外通信員事業

海外に在住する方を対象に通信員を公募し、現地のジェンダー平等又は女性のエンパワーメントに関するレポートを提出してもらう。提出されたりポートはウェブニュースレター『Asian Breeze』のほか、ホームページやSNSに掲載する。

(4) 国際研修事業 R7 予算 2,508千円(R6 予算3,265千円)

独立行政法人国際協力機構(JICA)九州センターが、開発途上国におけるジェンダー主流化の立案・推進が可能な行政官の育成を目的に実施する国際研修「行政官のためのジェンダー主流化政策 2025」の受託実施に加え、JICA 人材育成奨学計画(JDS)実施事業者から委託を受け、来日留学生向けのジェンダーに関する講義を実施する。

(5) 公 I (共通) R7 予算 28,769 千円(R6 予算 29,079 千円)

公益 I 事業に係る事務費、固定資産取得支出、人件費の合計。

**【公益Ⅱ事業】 男女共同参画に関する事業を通じて男女共同参画社会の形成を
推進する事業** R7 予算総額 220,184 千円
(R6 予算総額 231,410 千円)

○指定管理事業 R7 予算 207,748 千円 (R6 予算 216,024 千円)

1 事業概要

KFAW は、北九州市立男女共同参画センターの指定管理者として管理運営を行っており、引き続き、男女共同参画推進の拠点施設として男女共同参画等の推進、相談、情報発信等を展開していく。

2 業務概要

(1) 男女共同参画等推進事業 R7 予算 18,166 千円 (R6 予算 19,012 千円)

若い世代や働く女性、男性を中心に利用者層の拡大を図り、性別による固定的役割分担意識の解消、様々な分野での女性のエンパワーメント、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点も踏まえた生涯を通じた女性の健康支援、市民活動の支援や連携、相談事業等を展開し、市民に学習の場や能力構築の機会等を提供する。

ア 性別による固定的な役割分担意識の解消に関する事業

講演会などを通じ、広く市民に男女共同参画意識を啓発する機会を提供する。男女共同参画社会の実現には男性の理解・協力が不可欠のため、男性の家事への参画を促進する「おとこの魅力アップシリーズ」、「介護男子」、「父と子の食育」など男性を対象とした講座のさらなる充実を図る。また、若い世代への働きかけとして、高校生向けに男女共同参画意識の啓発に関する講座を実施する。

イ 女性のエンパワーメント事業

医療事務、パソコンなど、就業に関するスキルの向上を通じ、女性のエンパワーメントや再就職を支援する講座の充実を図る。働く女性のキャリアアップ講座の修了生を対象に、フォローアップを図るセミナーの開催やネットワークづくりを支援する。また、学生の卒業後の働き方や自己実現のために開発した「大学生のためのキャリア形成プログラム」を活用した出前講座を実施する。さらに、様々な分野での女性リーダーの育成を支援するための講座を開催する。

ウ 生涯を通じた女性の健康支援事業

女性の多様な活動を支えるために、性と生殖に関する正しい理解を促す知識の習得の機会を提供する講座を開催する。また、生涯を通じた心と身体の健康を、日常生活の中で自分の力で維持促進できるよう、知識や技術の習得の機会を提供する。さらに、育児期間の女性が心身ともに健康で過ごせるよう環境づくりを支援し、自分らしく生き生きと過ごすために心身ともにリフレッシュす

る講座を実施する。

エ ムーブフェスタ

開館以来続くムーブの中核事業である「ムーブフェスタ」については、引き続き市民の自主的な研究発表・実践活動を積極的に支援し、市民による企画事業を中心とした各種イベント等を実施するとともに、市民や市民グループの交流・連携を促進して市民活動の活性化を図る。

(2) 相談事業 R7 予算 3,668千円 (R6 予算 4,072千円)

男女の心の問題や生き方、性別による人権侵害、夫婦の問題等について、ムーブ相談員・臨床心理士・弁護士等が、電話や面談、メールで相談を受ける。

さらに、相談から見えてくる課題を踏まえ、離婚に関する法律基礎講座や相談会、女性への暴力ゼロ特別講座、福岡県弁護士会との共催による「女性の権利(暴力ゼロ)ホットライン(2回/年)」等を実施する。

(3) 情報収集・発信事業 R7 予算 14,967千円 (R6 予算 14,349千円)

ジェンダー問題に関する図書・資料の充実を図るとともに、ホームページやフェイスブック、インスタグラム、メールマガジン等により、講座や事業の情報を提供する。また、ジェンダーに関する啓発冊子を発行するほか、問題解決のために調査・研究を実施した研究者による成果の報告会を開催する。さらに、情報誌『ムービング』を発行し、幅広い読者層に向けて男女共同参画関連情報を発信する。

(4) 管理事業 R7 予算 170,947千円 (R6 予算 178,591千円)

北九州市立男女共同参画センターの施設・設備について、環境に配慮しながら充実を図るとともに、より円滑な管理運営に努め、安全で快適な施設を提供する。

市民や団体等の自主的な活動の場として、施設の設置条例等に基づき、施設の貸与を行う。

○ 自主事業 R7 予算 11,936千円 (R6 予算14,886千円)

男女共同参画社会の形成と個人の能力向上及び就業支援を目的に、受講料等を徴収し、資格取得・能力向上等を目指す講座や検定試験等を実施する。

【その他Ⅰ事業】 北九州市大手町ビル(北九州市立男女共同参画センター以外の部分)維持管理事業 R7 予算総額 34,971 千円
(R6 予算総額 35,566 千円)

北九州市大手町ビル(北九州市立男女共同参画センター以外)の施設・設備の保守点検、修繕などの維持管理を行う。

また、施設の維持管理等に関して、ビルの入居団体との連絡・調整を行う。

【その他Ⅱ事業】 北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業 R7 予算総額 8,560千円
(R6 予算総額 10,358 千円)

北九州市立男女共同参画センターにおいて、指定管理事業の一環として、公益目的以外に使用する団体等に施設の貸与を行う。

【法人事業】 R7 予算総額 14,278 千円
(R6 予算総額13,701 千円)

以上の事業を適正に推進するため、評議員会・理事会の開催をはじめ、法人の管理・運営のための業務を行う。

正味財産増減予算書

日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、
国際協力・交流等を通じて女性の地位向上を図る事業

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで
(令和 7年度)

(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,757,000	1,757,000	0
基本財産運用益計	1,757,000	1,757,000	0
受取会費			
賛助会員受取会費	295,000	290,000	5,000
受取会費計	295,000	290,000	5,000
事業収益			
書籍等販売収益	200,000	200,000	0
事業収益計	200,000	200,000	0
委託料収益			
国際協力機構委託料収益	3,938,000	6,371,000	▲ 2,433,000
委託料収益計	3,938,000	6,371,000	▲ 2,433,000
受取補助金等			
受取市補助金	30,228,000	30,852,000	▲ 624,000
受取補助金等計	30,228,000	30,852,000	▲ 624,000
経常収益計	36,418,000	39,470,000	▲ 3,052,000
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	1,672,000	1,610,000	62,000
給料手当	17,596,000	17,633,000	▲ 37,000
福利厚生費	3,732,000	3,941,000	▲ 209,000
会議費	228,000	186,000	42,000
旅費交通費	1,526,000	1,778,000	▲ 252,000
通信運搬費	543,000	600,500	▲ 57,500
備品購入費		60,000	▲ 60,000
消耗品費	954,000	907,000	47,000
印刷製本費	351,000	525,000	▲ 174,000
光熱水費	546,000	504,000	42,000
保険料	7,000	7,000	0
賃借料	2,597,000	2,615,000	▲ 18,000
諸謝金	3,006,000	4,002,500	▲ 996,500
租税公課	200,000	389,000	▲ 189,000
支払負担金	80,000	79,000	1,000
委託料	3,171,000	4,384,000	▲ 1,213,000
JICA資材費等	209,000	249,000	▲ 40,000
事業費計	36,418,000	39,470,000	▲ 3,052,000
経常費用計	36,418,000	39,470,000	▲ 3,052,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	10,525,688	17,754,106	▲ 7,228,418
一般正味財産期末残高	10,525,688	17,754,106	▲ 7,228,418
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高		161,583,048	▲ 161,583,048
指定正味財産期末残高		161,583,048	▲ 161,583,048
III 正味財産期末残高	10,525,688	179,337,154	▲ 168,811,466

正味財産増減予算書

男女共同参画に関する事業を通じて
男女共同参画社会の形成を推進する事業

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで
(令和 7年度)

(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
指定管理施設自主事業費収益			
受講料収益	4,411,000	6,660,000	▲ 2,249,000
教材費収益		2,653,000	▲ 2,653,000
雑収益	131,000	148,000	▲ 17,000
指定管理施設自主事業収益計	4,542,000	9,461,000	▲ 4,919,000
北九州市委託料収益			
北九州市委託金収益	215,142,000	221,449,000	▲ 6,307,000
北九州市委託金収益計	215,142,000	221,449,000	▲ 6,307,000
経常収益計	219,684,000	230,910,000	▲ 11,226,000
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	3,342,200	3,219,000	123,200
給料手当	58,389,800	56,033,000	2,356,800
臨時雇賃金	87,000	48,000	39,000
福利厚生費	14,554,000	12,851,000	1,703,000
会議費	64,000	49,000	15,000
旅費交通費	1,208,000	1,353,000	▲ 145,000
通信運搬費	2,719,000	3,185,000	▲ 466,000
備品購入費	391,000	448,000	▲ 57,000
減価償却費	500,000	500,000	0
消耗品費	6,306,000	6,637,000	▲ 331,000
修繕費	4,600,000	4,610,000	▲ 10,000
印刷製本費	1,184,000	2,176,000	▲ 992,000
光熱水費	12,754,000	22,547,000	▲ 9,793,000
保険料	473,000	537,000	▲ 64,000
賃借料	5,190,000	5,393,000	▲ 203,000
諸謝金	5,040,000	5,016,000	24,000
租税公課	5,310,000	5,728,000	▲ 418,000
支払負担金	99,000	121,000	▲ 22,000
支払助成金	2,200,000	2,450,000	▲ 250,000
委託料	95,773,000	98,509,000	▲ 2,736,000
事業費計	220,184,000	231,410,000	▲ 11,226,000
経常費用計	220,184,000	231,410,000	▲ 11,226,000
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 500,000	▲ 500,000	0
当期経常増減額	▲ 500,000	▲ 500,000	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	▲ 500,000	▲ 500,000	0
一般正味財産期首残高	12,647,932	15,203,265	▲ 2,555,333
一般正味財産期末残高	12,147,932	14,703,265	▲ 2,555,333
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	12,147,932	14,703,265	▲ 2,555,333

正味財産増減予算書

北九州市大手町ビル維持管理事業

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで
(令和 7 年度)

(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
北九州市委託料収益			
北九州市委託金収益	34,971,000	35,566,000	▲ 595,000
北九州市委託金収益計	34,971,000	35,566,000	▲ 595,000
経常収益計	34,971,000	35,566,000	▲ 595,000
(2) 経常費用			
事業費			
修繕費	1,524,000	1,524,000	0
光熱水費	11,691,000	11,925,000	▲ 234,000
租税公課	840,000	920,000	▲ 80,000
委託料	20,916,000	21,197,000	▲ 281,000
事業費計	34,971,000	35,566,000	▲ 595,000
経常費用計	34,971,000	35,566,000	▲ 595,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高			
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	0	0	0

正味財産増減予算書

北九州市男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで
(令和 7年度)

(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
北九州市委託料収益			
北九州市委託金収益	8,560,000	10,358,000	▲ 1,798,000
北九州市委託金収益計	8,560,000	10,358,000	▲ 1,798,000
経常収益計	8,560,000	10,358,000	▲ 1,798,000
(2) 経常費用			
事業費			
光熱水費	1,406,000	2,715,000	▲ 1,309,000
租税公課	400,000	400,000	0
委託料	6,754,000	7,243,000	▲ 489,000
事業費計	8,560,000	10,358,000	▲ 1,798,000
経常費用計	8,560,000	10,358,000	▲ 1,798,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高			
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	0	0	0

正味財産増減予算書

法人事業

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで
(令和 7年度)

(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,757,000	1,757,000	0
基本財産運用益計	1,757,000	1,757,000	0
受取会費			
賛助会員受取会費	295,000	290,000	5,000
受取会費計	295,000	290,000	5,000
受取補助金等			
受取市補助金	5,772,000	5,148,000	624,000
受取補助金等計	5,772,000	5,148,000	624,000
雑収益			
その他雑収益	40,000	40,000	0
雑収益計	40,000	40,000	0
経常収益計	7,864,000	7,235,000	629,000
(2) 経常費用			
管理費			
役員報酬	3,309,000	3,040,000	269,000
給料手当	4,415,000	3,816,000	599,000
臨時雇賃金	28,000	52,000	▲ 24,000
福利厚生費	2,003,000	1,721,000	282,000
会議費	9,000	9,000	0
旅費交通費	663,000	963,000	▲ 300,000
通信運搬費	235,000	217,000	18,000
備品購入費		60,000	▲ 60,000
消耗品費	356,000	312,000	44,000
印刷製本費	100,000	133,000	▲ 33,000
光熱水費	234,000	216,000	18,000
保険料	3,000	3,000	0
賃借料	1,113,000	1,121,000	▲ 8,000
諸謝金	46,000	66,000	▲ 20,000
委託料	1,457,000	1,463,000	▲ 6,000
租税公課	83,000	83,000	0
支払負担金	218,000	420,000	▲ 202,000
雑費	6,000	6,000	0
管理費計	14,278,000	13,701,000	577,000
経常費用計	14,278,000	13,701,000	577,000
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 6,414,000	▲ 6,466,000	52,000
当期経常増減額	▲ 6,414,000	▲ 6,466,000	52,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	▲ 6,414,000	▲ 6,466,000	52,000
一般正味財産期首残高	16,418,714	9,811,723	6,606,991
一般正味財産期末残高	10,004,714	3,345,723	6,658,991
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	161,583,047	161,583,047	0
指定正味財産期末残高	161,583,047	161,583,047	0
III 正味財産期末残高	171,587,761	164,928,770	6,658,991